

世界経済の崩壊と 自給村の必要性

かきかけ……

データは少し古いが

状況はもっと悪化しています

いま、世界は、食糧不足から暴動に発展している。

影響

中東、アフリカ地域では食料は輸入に頼っています、まさに値段の高騰に庶民が耐えられなくなっている。

- チュニジア 23年に及び独裁を続けた大統領 逃
- アルジェリア 420人が負傷、3人の死者
- モザンビーク 13人死者
- ヨルダン 5000人規模の反政府デモ
- イエメン 2500人以上 大統領 非難
- エジプト 大統領が逃げ出す
- 南米 ボリビアでは5000人規模のデモ 一部暴徒化
- リビアで暴動

原因

- 世界的異常気象
- 中国・インドなど新興国の人口増、需要増
- 穀物先物市場への投機資金の流入(リーマンショック後、政府が金融機関を救済するため国債を発行して資金を金融市場に投入。その総額は800兆円ともいわれる)



世界の約10億人の人々が飢え、3.6秒ごとに1人餓死している。

人類の淘汰

今でも地球は70億人を養えない(理由/意図的に捏造された南北格差)。

お金を積んでも食糧を売ってくれない、という事態が現実になる日も近い、と認識しておくべきだ。常識では理解できない事態が生じるようになるかもしれないのだから。これからの時代をゆめゆめ、甘く見てはならない。

これから天変地異、世界経済の混乱などで、人類の生存そのものが大きく問われるような状況が増大していく。これは今までになかったような、歴史上の大きな転換点だからだ。



[UNFPA(国連人口基金)東京事務所:世界人口推移グラフ]

世界人口は2050年には90億人になると見られている。世界中で飢え死にする人々が多く出てきているが、食糧供給事情が厳しくなっているため、飢餓は更に増大する傾向にある。

急ピッチで異常気象が激化している。

異常気象

暑さ寒さのこの激しさ、一体地球はどうなっていくのか？ この異常気象が収まると思いますか？ 「この世界的な異常気象は収まらない、さらに拡大していくだろう」。

- ロシアの干ばつ（過去50年で最悪の干ばつ）と穀物禁輸
- オーストラリアの洪水（日本の国土の3.7倍の地域が被害）
- 中国で深刻な旱魃が起き、人と家畜の飲料水不足が発生。中国の主要農業地帯が過去60年で最悪の旱魃
- ブラジル洪水、死者800人弱、行方不明者は400人以上、推定では1000人以上の死者
- スリランカでも洪水で100万人が避難
- 去年はロシアや欧州の熱波
- 欧州では昨年12月、100年ぶりの寒波、空港閉鎖。ニューヨークでも60年ぶりの大雪



表3 世界の各地域における異常気象(2012年1月1日～2月20日)

収穫量は減るが、消費は増えている。

在庫の減少

- 生産が減り、消費が増える。
- ゆえに在庫は減少する。
- 在庫が減少すると、食料不足が加速すると一気に価格上昇を招く。

世界の穀物消費量と在庫率の推移

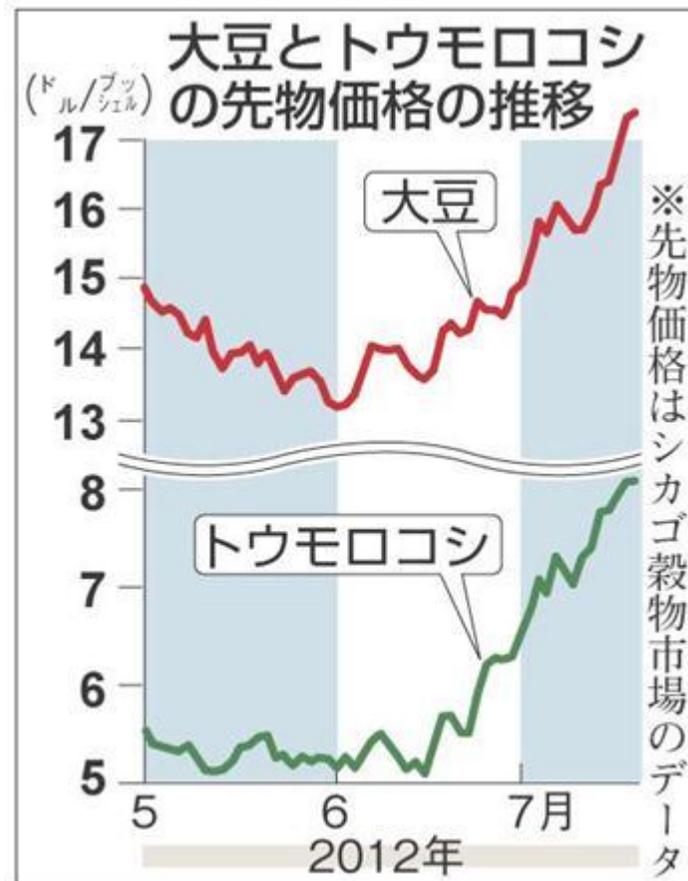
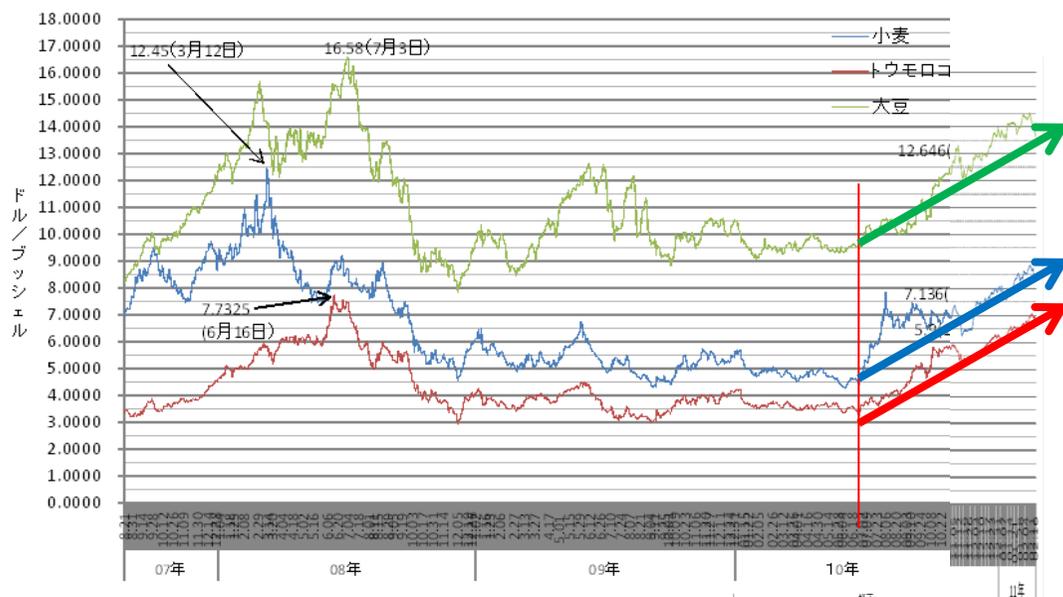


5 価格上昇

生産量が減り、供給が追いつかないと、価格が暴騰する。

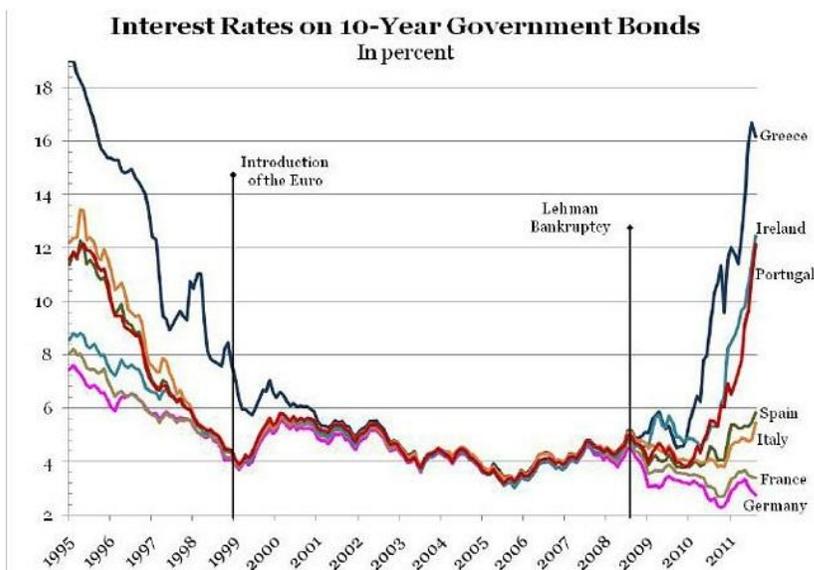
暴騰

●シカゴ先物市場のトウモロコシと大豆への資金流入は、たった半年で約4割増となり、価格はトウモロコシは半年前の2倍に、大豆は5割高という異常な水準に達している。(砂糖やコーヒーの価格も暴騰)



国家が倒産の危機にある。

ユーロ各国の金利



フィンランドのトゥオミオ外相は、欧州首脳陣はユーロ崩壊の事態に備えるべき、との考えを示した。ユーロ17ヶ国の分裂が近づいている。

日本の国家倒産リスク

国と地方公共団体の借金は合計で1500兆円あるといわれています。莫大過ぎて返せない。

日本の金利が上昇局面にある

デリバティブ市場が崩壊すると、世界のあらゆる通貨が同時に崩壊します。金融崩壊の直前の兆しは金利が上がることです。



自我(欲望)の極大化というモノサシだけを、人類が振り回した。

人間の犯したまちがい

産業革命以降の思想とは

- ・自我極大化
- ・弱肉強食⇒学力、体力、能力など人を上回ることで幸福が手に入る。
- ・ダーウィンの進化論を人間社会に押しつけ

物質至上社会

- ・デカルト、カント、ニュートンなど物質のみの繁栄を求める思考・価値観が世界を席卷
- ・要素還元、スペックのみの思考

幸福の源泉とは

- ・お金と権力

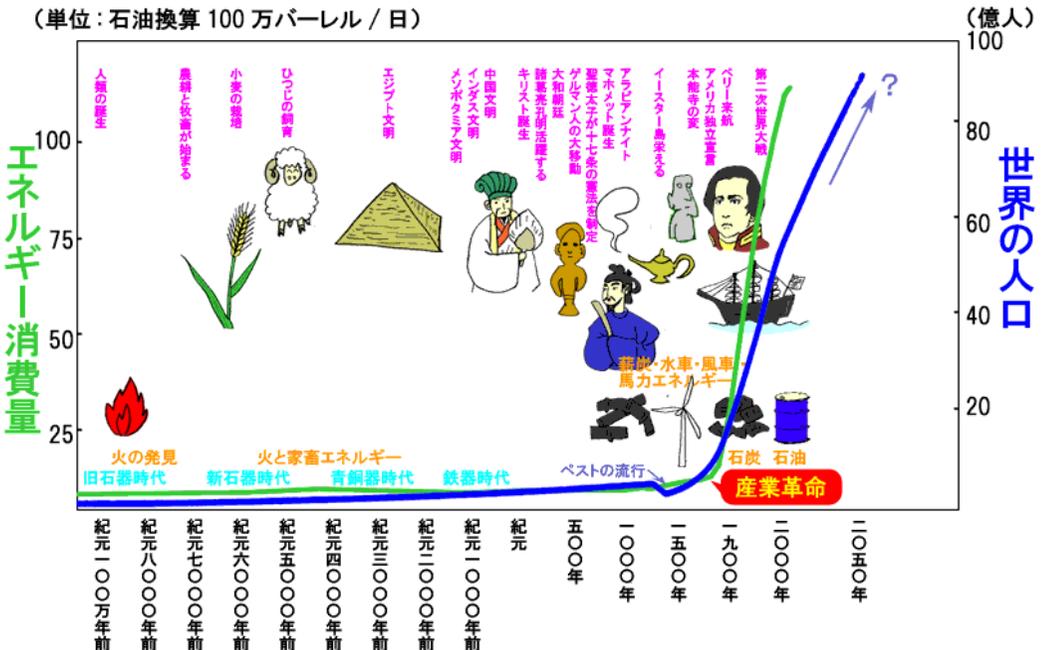
自分さえよければいい

- ・自己本位の価値観

人間本位(ヒューマニズム)

- ・動物を養殖し、屠殺し、生命の尊厳を踏みにじった
- ・人間中心の価値観で便利さと欲望を追求したため環境破壊 資源搾取

産業革命以降、世界が信じてきた正義が、地球を滅ぼす。



世界人口とエネルギー消費量の移り変わり

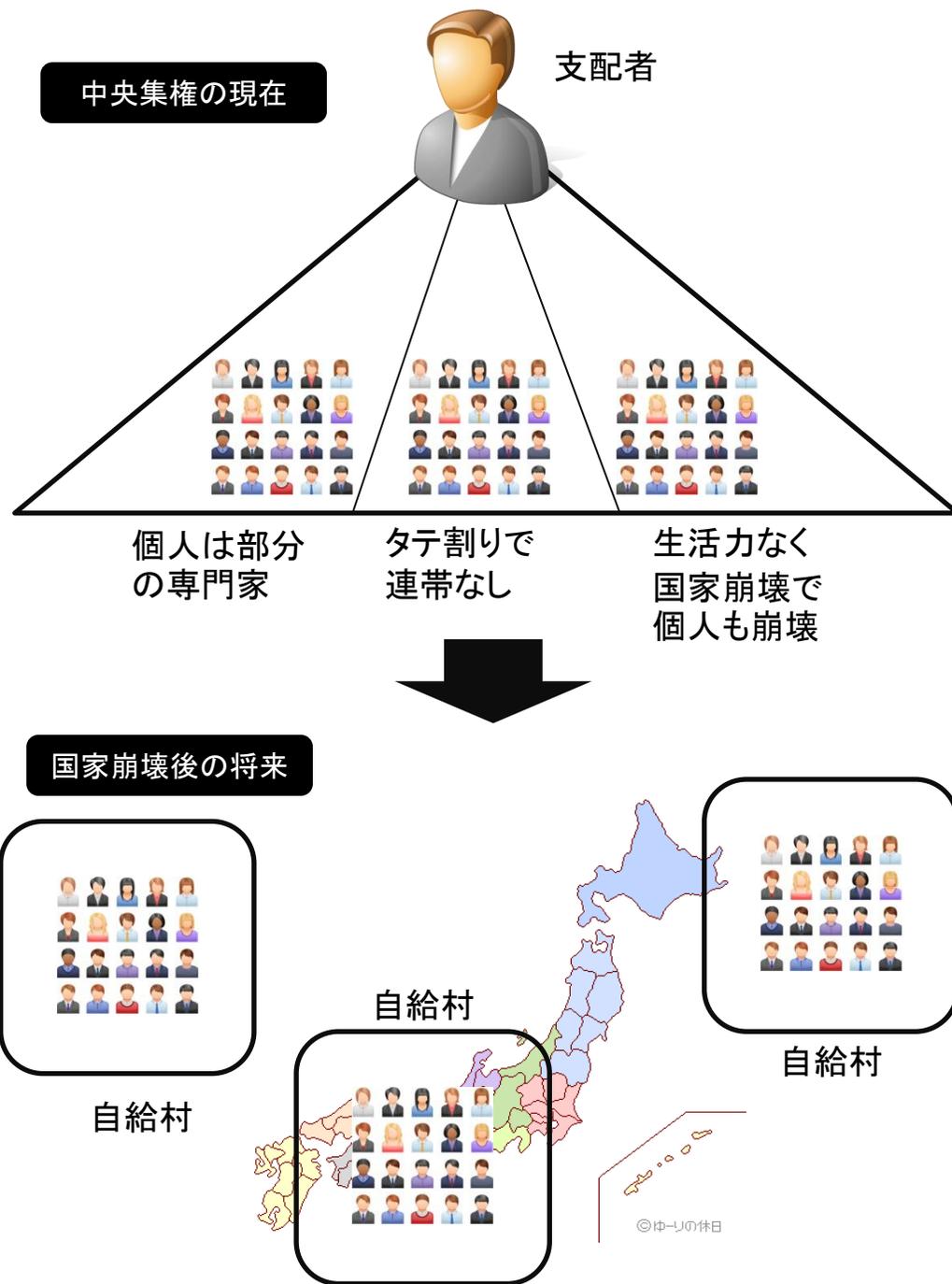
中央集権国家システムの崩壊後も、 自給共同体を単位にして生き延びる。

<体制の崩壊が個人の崩壊>

私たちは、国家という大きな単位で自立する方法しか選べない。この方法は全体で大変効率のよい在り方ですが、すべての人が部分の専門家となり、個人として地球に自立する能力を持っていないので、全体(国家体制)が崩れると全員生活不能者となってしまう。

<自給村単位で、自立する>

放射能拡散時代に、国家崩壊後も、全体の成り行きに影響されない暮らしをしようと思うなら、顔の見える数百名の自給村を1ユニットにして、**国家や中央集権的な物流システム、資本主義システムに頼らない相互扶助の受け皿を形成しておく必要がある。**



地球の世直し、建て直しをするのは日本人である。

- ・天孫・・・天からの現人神が日本人である。
- ・罪を背負った者の後裔ではなく、神の子である。
- ・日本が世界のひな型である。 →

世界の大陸を合わせると
日本地図になる



世界に先んじて清めの洗礼を受け(災害)、
世界に先んじてあるべき世づくりの模範を示す。

相互扶助の自給村を単位とした社会形成。

- ・行きすぎた個人主義(利己主義)を、村の福利に昇華する。
- ・日教組(GHQ)が破壊した日本の魂、天、親、道徳を再興する。
- ・ネイティブインディアンや縄文時代の村が持っていた自然観の再興。

歩ける距離、物々交換可能なエリア。

織物エリア

おおし
しげともエリア

はたえだ
東山エリア

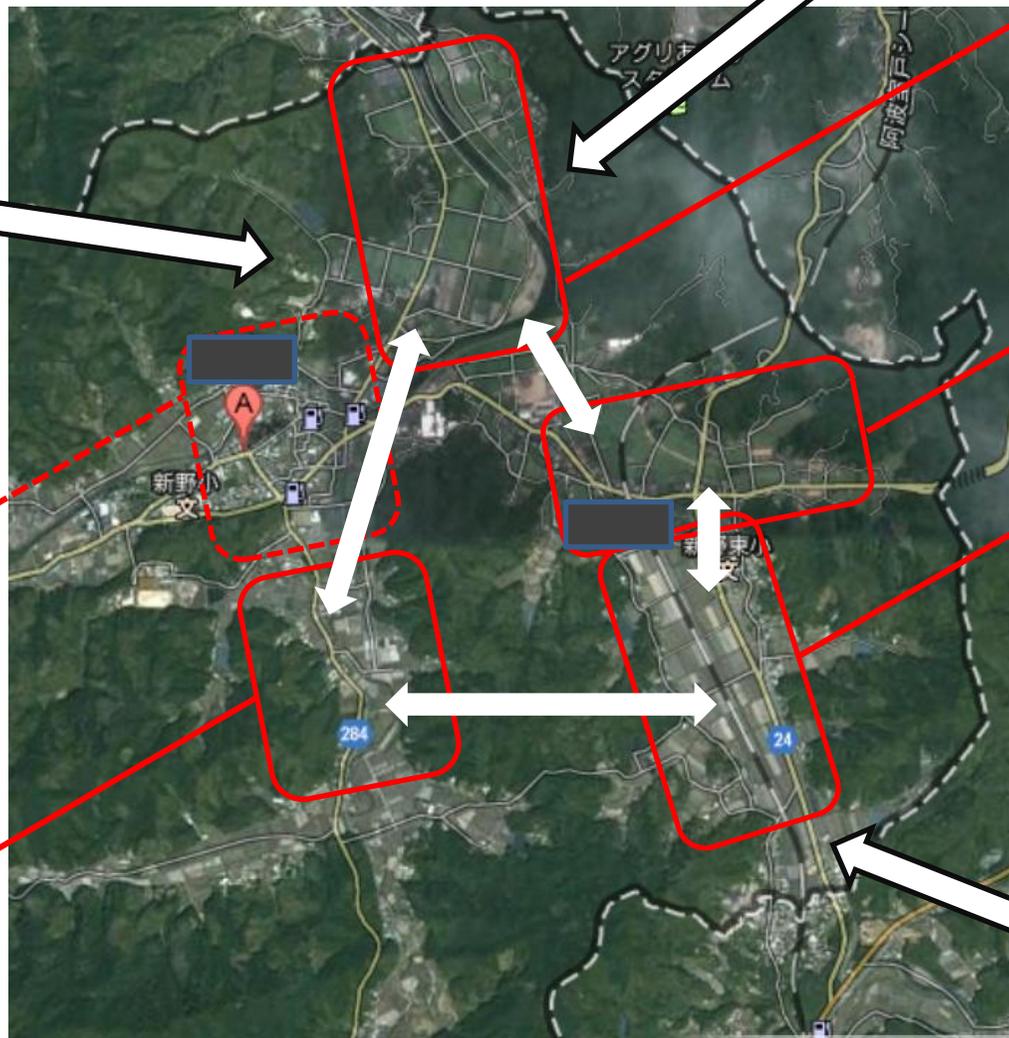
はたえだ市
エリア

海産物エリア

冶金工芸エリア

馬場エリア
農地がないため
近隣に統合

ひろしげ
つきよエリア



ローテク、衣食住の最小限の機能分担。

最小ユニット

- ・こめ、いも、みそ、しょうゆ、おちゃなど、伝統的な農産物の自給
- ・たけのこの自給とたけ製品の二次加工

やること

- ・伝統的な農産物の手作りノウハウの習得・継承
- ・たけ製品の二次加工ノウハウの習得・継承
- ・野草山菜の種類、たべ方の習得・継承
- ・和漢薬になる薬草のノウハウの習得・継承(病院、保険制度の崩壊)

近隣ユニット

- ・海産物、織物、冶金工芸(陶芸)などの徒歩交易(物々交換)

やること

- ・近隣における伝統工芸などの継承者の発掘とネットワーク(高齢化してしまい、途絶する可能性(もう途絶している?))

明治時代以前の村文化に似た自活、自助努力。

教育

- ・乳幼児の保育機能(寺子屋機能)
学校教育システムの崩壊にともなう
- ・お母さんに育児負担を押しつけない
ムラ全体で子どもを預かり育てていくという村家族制
- ・人材
- ・高等教育に関しては不明

やること

- ・メンバー間での育児や教育観の共有
(最初はコアメンバー⇒やがて拡大)

福祉

- ・高齢者や障害者のケア養育のあり方？
- ・支える母体となる人口と生産力？
- ・近隣エリアと共同の養育体制？

就労

- ・労働の受け皿としての資本主義市場の崩壊
- ・自給農業の分担と遂行
- ・就労のための高等教育が不要になる？
- ・医師(祈祷？ヒーラー？)などは自己研鑽(修行？)